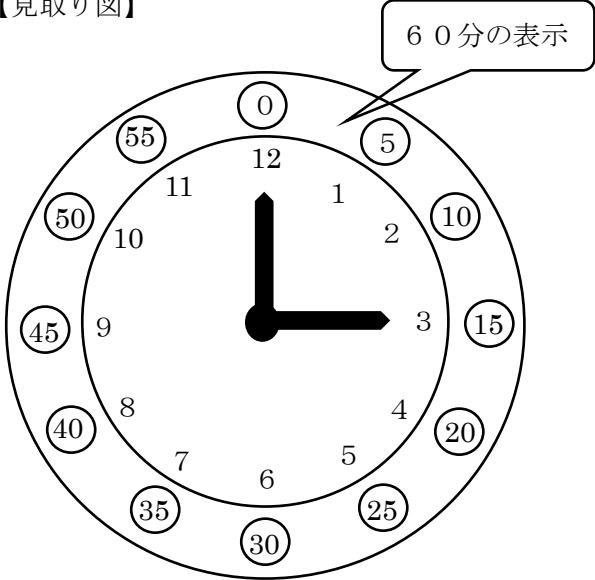


自作教具の活用事例

【作品名】 くるくる時計	【学校名】 日 立 市 立 滑 川 中 学 校
【活用できる領域・教科等】 数学・算数・生活単元学習	【制作者名】 宮 島 志 歩
【制作の意図】 ・時刻の読み取りが苦手な生徒のために、実際に時計を自分で動かし、楽しみながら時間や時刻を読み取る能力の定着を図る。	【使用方法】 ・時間や時刻の読み取り学習の際に、実際に時計を自分で動かして計算する。
【制作上の工夫】 ・身近にあるもので簡単に作ることができる。 ・イラストを厚紙に貼り付けて強度をあげることで、複数回使用しても破れないようにした。 ・文字盤上に60分の刻みを記入することで、「時間」と「分」を同時に判断できるようにした。	【見取り図】 
【写真】 	【使用効果と応用発展】 ・「時間」と「分」を同時に確認することで、かかった時間や、時刻の読み取りを正確に行うことができた。 ・時計の針を指先で動かす動作を繰り返すことで巧緻性の向上をはかることができる。
【材料・材質・部品等】 ・厚紙 ・時計のイラスト	